

加齢黄斑変性症とは

加齢黄斑変性症とは、網膜の中でも最も視力に關係する大切な部分（黄斑）が加齢の変化によって障害される疾患です。喫煙者は発症する頻度が高いことがわかっており、太陽光、高血圧、偏った食生活、遺伝などの関与も指摘されています。加齢黄斑変性症には大きく分けて2つのタイプがあり、新生血管（脈絡膜新生血管）を伴う“滲出型”と、網膜の組織が徐々に萎縮する“萎縮型”に分類されます。滲出型は、脈絡膜新生血管が発生することで黄斑が障害されます。病状の進行が早く、急激な視力低下をきたすこともあります。萎縮型は、加齢によって網膜にと老廃物がたまり、網膜の組織が徐々に萎縮していきます。病状の進行は緩やかで視力もすぐに悪くならないことが多いです。

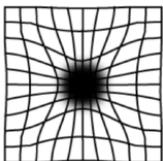
■ 症状

視力低下	見たいものがはっきり見えません
変視症	ものがゆがんで見えます
中心暗点	見ているものの中心が暗く感じたり、欠けて見えます
色覚異常	色の判別がつきにくくなります

■ 検査

変視の有無を**アムスラーチャート**などを用いて調べます。**眼底検査**や**OCT**で網膜のむくみ、脈絡膜新生血管、出血の存在を確認し、**光干渉断層血管撮影（OCTA）**を用いると、脈絡膜新生血管の有無を確認できます。**蛍光眼底造影検査**は、腕から静脈に造影剤を注射して網膜や脈絡膜にある血管の状態を観察します。

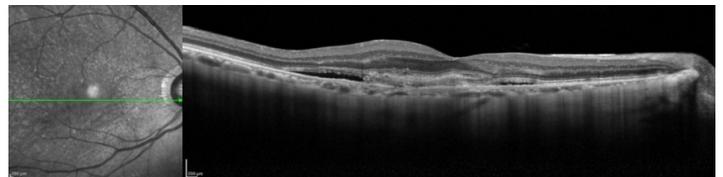
・アムスラーチャートや 各種の変視チェックテスト



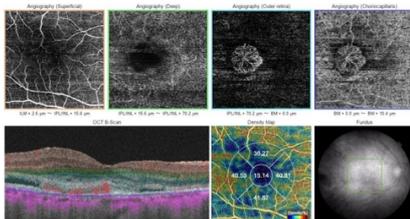
・眼底検査



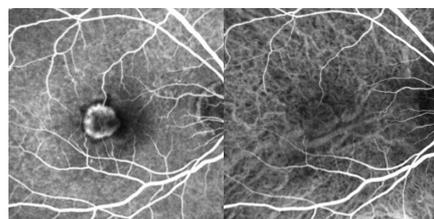
・光干渉断層計（OCT）



・光干渉断層血管撮影（OCTA）



・蛍光眼底造影検査



■ 治療

- ① **生活習慣改善** たばこは避け、バランスの良い食事を心がけてください。
- ② **抗 VEGF 療法** 新生血管を成長させたり、水分を漏れやすくしたりする VEGF（血管内皮増殖因子）という物質の働きを抑えるために眼内に薬剤を注射します。
- ③ **光線力学的療法（PDT）** 光に反応する薬剤と弱いレーザー光線を組み合わせた治療です。レーザーにより薬剤が活性化され、新生血管を閉塞します。
- ④ **手術** 網膜の下に出血が生じた場合や、硝子体側に出血が移動した場合には硝子体手術を行います。白内障手術を提案することもあります。
- ⑤ **視覚訓練** 視力が低下した場合には、眼鏡処方を含め、日常生活がしやすいようにサポートを行います。

■ 当院での実績

当院では専門医による多くの患者様の治療実績があります。抗 VEGF 療法だけでなく、適応があれば光線力学療法も組み合わせて治療致します。新しい薬剤の臨床試験の実績もあります。手術が必要となった場合には、速やかに実施させていただきます。

■ 患者さんにお伝えしたいこと

加齢黄斑変性症は再発が多い病気です。両眼で見ていると気がつかない場合もありますので、片目を隠して片目だけで見え方の自己チェックを心がけ、ゆがんで見えたり、部分的に欠けて見えたりする場合には相談してください。よりよい視力を少しでも長く維持できるように、取り組んでいます。

■ 本学での取り組み（臨床研究）

多くのデータから病気のタイプ別の治療成績の違いや予後などについて検討しています。

※加齢黄斑変性に関する本学からの学術論文

Komuku Y, Iwahashi C, Gomi F. Effectiveness of polypoidal lesion-selective photodynamic therapy with intravitreal anti-vascular endothelial growth factor for polypoidal choroidal vasculopathy. Jpn J Ophthalmol. 2020 May;64(3):265-270. doi: 10.1007/s10384-020-00734-3. Epub 2020 Mar 23.

Gomi F, Migita H, Sakaguchi T, Okada H, Sugawara T, Hikichi Y. Vision-related quality of life in Japanese patients with wet age-related macular degeneration treated with intravitreal aflibercept in a real-world setting. Jpn J Ophthalmol. 2019 Nov;63(6):437-447. doi: 10.1007/s10384-019-00687-2. Epub 2019 Oct 31.

Fukuyama H, Iwami H, Araki T, Ishikawa H, Ikeda N, Gomi F. Indocyanine green dye filling time for polypoidal lesions in polypoidal choroidal vasculopathy affects the visibility of the lesions on OCT angiography. Ophthalmol Retina 2018 Aug;2(8):803-807. doi: 10.1016/j.oret.2017.11.016. Epub 2018 Jan 9.